10.14 緊急集会！

関電の原発マネー徹底究明と原子力からの撤退を求める！

ゲスト：東山幸弘さん（ふるさとを守る高浜・おおいの会）

拡散してね！

日　時：2019年10月14日（月・祝）
13:30～16:15（開場：13:15）
場　所：国労大阪会館　3階大会議室
参加費：一般700円、学生・避難者 200円
主　催：避難計画を案ずる関西連絡会

当日の内容（予定）

○ゲストのお話：東山幸弘さん

「底が深い原発マネー関西電力に原発を持つ資格なし、全機運転を止めて廃炉にする以外ない」

○関電の金品受領の問題点と今後の活動について

○「私は怒っている」各団体・各地から、参加者からのリレートーク

脱原発の株主から/福島原発事故の避難者から/中間貯蔵に反対する和歌山から/滋賀で保養キャンプに取り組む母から/老朽原発停止を求める名古屋裁判原告から/国相手の大飯原発運転停止を求める裁判原告から/海外は関電をどう見ているか/京都・大阪・兵庫等から

○集会決議採択

- - - - - - - - - - - - 皆様へ - - - - - - - - - - - -

関西電力は10月2日の記者会見でも、八木会長も岩根社長も辞任を拒否しました。12年間に3億2千万円もの現金・金貨・スーツ等を受け取っていながら、自らは「被害者」だと強弁し、原発マネーの還流を認めようとはしません。さらに、吉田開発の顧問でもあった森山元助役に、事前に工事概算額まで告げるなど利益供与の疑惑も出てきました。

また、吉田開発等から直接金品を受け取っていたことも明らかになっています。関電の原発業者との癒着、コンプライアンスやガバナンスの欠如は底なしです。

他方で、このような関電が危険な原発の運転を続け、40年超えの高浜1・2号、美浜3号の老朽原発の再稼働を狙い、原発の運転を続けるための使用済燃料の「中間貯蔵施設」や原発敷地内での乾式貯蔵施設の建設を進めようとしています。原子力規制委員会と経産省は、原発の運転を認めたまま、老朽化対策工事の中止を命じることもなく、淡々と審査を進めています。

集会では、高浜町の東山さんを迎えて、事件後の町の様子や現地からの思いを話してもらいます。関電事件の問題点と今後の活動について報告し議論します。そして、各団体・各地から、参加者から「私は怒っている」のリレートークもあります。それぞれの立場から思いを話してもらい、参加者で共有して、今後の活動につなげていきましょう。

緊急集会にご参加ください！

関電の原発マネー徹底究明と原子力からの撤退を求める緊急署名

締め切りは10月15日です、こちらもご協力お願いします。

◆ ネット署名　https://forms.gle/vD3CHxycqYD17ueH9

◆ 紙版署名用紙　https://ux.nu/DqUSZ

避難計画を案ずる関西連絡会 2019.10.4

連絡先
グリーン・アクション：京都市左京区田中関田町22-75-103
TEL：075-701-7223 FAX：075-702-1952
美浜の会：大阪市北区西天満4-3-3星光ビル3階
TEL：06-6367-6580 FAX：06-6367-6581